

第 4 回 臨床研究セミナーのご報告

平成 24 年 3 月 26 日（月）に開催しました「第 4 回臨床研究セミナー」には 94 名もの参加をいただき、ありがとうございました。また、アンケートにもご協力いただき、ありがとうございました。

今回は、お二人の講師の先生をお招きして、国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部 研究倫理研究室長 松井 健志先生からは「研究倫理の基本的な考え方」について、東京大学大学院医学系研究科 医療倫理学分野 特任助教 田代 志門先生からは「臨床研究におけるインフォームド・コンセント」についてご講演をいただきました。

はじめに、千田病院長より「我々が一番身近なメディカルエシックスというと、生命倫理で、生物を扱い、人を扱う者としては、知っておいて当たり前、知らなかった場合は非常に問題を起こすということですので、その基礎を勉強させていただく良い機会を作っていただきました。お二人の講師の先生方は、MDはもちろん、文学を専攻とされる先生からも違った立ち位置からお話しをいただけるということで、非常に楽しみであります。」と開会のご挨拶がありました。講演後は、質疑応答が行われ、最後に白神センター長より、「我々が臨床の場でどのように倫理を考えるか、ICをどのように獲得するか、ということの説明から獲得までを考えていくのに非常に役に立ったと思います。」と、閉会のご挨拶がありました。



国立循環器病研究センター 予防医学・疫学情報部
研究倫理研究室長 松井 健志先生
「研究倫理の基本的な考え方」

東京大学大学院医学系研究科
医療倫理学分野 特任助教 田代 志門先生
「臨床研究におけるインフォームド・コンセント」

